

活動レポート

NPO 法人 周南視覚障害者図書館

今回は、点訳・録音図書の製作や点字図書館の運営等を通して視覚障害者の方の支援を行っているグループをご紹介します。



NPO 法人 周南視覚障害者図書館
点訳グループの皆さん

1. 会の発足のきっかけや経緯を教えてください。

当会は、美祢郡秋芳町（現：美祢市秋芳町）の「点訳麦笛の会」で点訳指導を受けた人達により「点訳麦笛の会 徳山支部」として昭和45年に発足しました。翌年には音訳を開始し、昭和49年には徳山点字図書館を開設、点訳・録音図書の貸出しを始めました。また、昭和51年には“やまびこのように打てば響くような活動をしよう”という思いから会の名称を「点訳やまびこの会」に変更しました。その後、著作権法の改正により録音図書の製作を続けるためには法人格の取得が必要となったことから平成23年3月に法人化、「NPO 法人 周南視覚障害者図書館」に名称を変更し、現在に至ります。

2. 点訳・録音図書の製作の流れを教えてください。

まず、図書の選定ですが、当会では会員個人が自ら選定します。ただし、国内で同じ本を重複して製作しないよう、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営する「サピエ図書館」という全国の点訳・録音図書の検索・ダウンロード等ができるデータベースにおいて着手・所蔵されていないものを選ばなければなりません。

その後、点訳図書の場合はパソコンを使用して点訳を行い、3度の校正を経た後に点字プリンタを使用して印刷、その後製本をして完成となります。また、録音図書の場合もパソコンを使用して録音し、2度の校正の後に訂正作業を行い、その後訂正箇所の校正を経て編集完了となります。そして、点訳・音訳された図書は「サピエ図書館」へ登録し、全国貸出をしています。

一冊の本の点訳・音訳にかかる時間は、点訳の場合初心者は約半年、慣れている人だと1ヶ月ほどで、音訳の場合は3～5ヶ月ほどです。



CD 図書コピー等の図書館作業

3. 点訳・音訳の難しさとは？

点訳の場合は、文節ごとに区切るという点字のルールを正確に判断し、点訳へ反映することが難しいです。そのため、校正には時間がかかります。

音訳の場合は、音訳と朗読の違いを理解した上で読みを行うことが難しいです。例えば、朗読の場合は感情を込めて読み上げますが、音訳の場合は視覚障害者の方に情報を正確に伝えるため、平坦に、抑揚を付けずに読み上げなければなりません。書いてあるものをそのまま声に出して読む、ということが重要であるため、アクセントや間の取り方等に気を付け、誤読のない聞きやすい読みを常に心がけています。また、当会の場合は自宅で録音を行うため、雑音が入らないように録音することも大変です。

点訳・音訳共通の難しさとしては、漢字を正しく読むことが挙げられます。そのため、点訳・音訳の際には辞書を引くことが常に欠かせません。

4. 図書だけでなく、市広報やごみカレンダー、JR 徳山駅時刻表等も点訳されているんですね。

市広報とごみカレンダーの点訳は市からの委託により開始し、時刻表の点訳は視覚障害者の方からの直接の要望に応え開始しました。その他、家電製品の取扱い説明書や観光ガイドブック、料理レシピ、歌詞カード等、視覚障害者の方から依頼があれば随時点訳を行っています。

5. 「点訳・音訳ボランティア初心者講習会」を毎年開催されていますね。

点訳・音訳を基礎から学べる講習会を毎年10月～翌年3月にかけて開催しています。点訳は昼・夜の2部を開講しており、昼の部の受講者は女性の方が中心ですが、夜の部には男性の方もいらっしゃいます。音訳は昼の部のみの開講で、女性を中心に30～60代と幅広い年代の方が受講されています。講習会終了後も受講者のほとんどの方が継続しての活動参加を希望され、これを機に入会してくださる方も多くいらっしゃいます。今年も同時期に開催しますので、興味のある方はぜひお申し込みください。

7. 会の設立から約半世紀経っていますが、なぜ会がこんなにも長く続いているのでしょうか？

“視覚障害者の方々のために何かお手伝いしよう”という思いが設立から現在に至るまで常に会の根底にあり、そして今も視覚障害者の方々からの要望が常にあるということが理由の1つではないかと思えます。また、数多く存在する音訳・点訳グループの中でもボランティアのみで図書館運営を行っているのは当会のみである、という特色があることも理由の1つかもしれません。

今後も諸先輩方が築いてこられた当会を続けてゆくことが目標だと思っています。会員の高齢化や後継者不足という課題もありますが、会や点訳・音訳のPR活動に努め、毎年行っている初心者講習会の内容をより充実させ、ボランティア活動の楽しさや、講習で受ける様々な刺激が生活に活かされること等を多くの人に伝えてゆきたいです。

8. 皆さんに伝えたいことをどうぞ！

私たちが考える“ボランティア活動からの贈り物”は4つあります。1つ目は知り合いが増えること、2つ目は生き甲斐ができること、3つ目は社会や地域との関係が深まること、4つ目は他人への思いやりが生まれることです。例えば、活動に参加することによって新しい人々と知り合うことができますし、新たな楽しみ等も増えます。また、これまでの活動範囲を越えて活動することにより、社会や地域に対する新たな気づきや関心等も生まれます。そして、活動を通して様々な物事に接し、新たな気づきや関心を得た結果、他者に対して気を配り、より良い生活を目指そうという思いも生まれます。上記以外にも“ボランティア活動からの贈り物”はあると思いますが、ボランティア活動により色々な面で新しい事、今までになかった人々との接触等がありますので、ぜひ、ボランティア活動を第2の人生として皆様に楽しんでいただくことをお勧めします。

私たちはみな、活動を楽しみ、長く続けられるよう心がけています。大変だと感じることもありますが、社会へ貢献しながら自分自身の向上も図ることができる非常にやりがいのある活動なので、点訳・音訳に興味を持たれた方はぜひ講習会等にご参加ください。

10月より「点訳・音訳ボランティア初心者講習会」を開催。(申込〆切:9/23) 詳細は支援センターHPへ。

6. 活動の中でやりがいや楽しさを感じる場面はありますか。

一冊ずつ仕上げるたびに達成感があり、「次も頑張ろう」と気持ちを繋げていくことができます。他には、利用者から感謝や励ましの便りが届くと嬉しく感じますし、視覚障害者の方々の方々の行事に参加した際に、私たちの声を聞いただけで「いつもありがとう」と言っていただけの際にはやって良かったと思えました。また、同じ思いを持つボランティア仲間との時間を共有することも嬉しく思います。



サピエで貸出し業務



録音中の音訳ボランティア

◆NPO 法人 周南視覚障害者図書館◆

TEL 0834-34-9351

Fax 0834-34-9352

メール tokuteny@able.ocn.ne.jp